



エピソード

砂場で、山づくりを楽しんでいたが、片付ける時間になると他のクラスの友達が壊してしまい、「あーあ。壊されちゃった。」と話しながら見つめるだけでした。クラスでその日の遊びの振り返りをした時に「砂場で山をつくって、楽しかったです、でも山、壊されちゃった」とも話してくれました。そこで、クラスで話し合い「次の日にも置いておきたい」という子どもの思いにクラスの友達が色々アイデアをだしました。「壊さないでっていう」「コーンをいっぱい立てておく」「しるしをつけたらいいんじゃない?」「バツしるしにしたら」「手もかいたらいい」「壊さないでねってかいたら」「字が読めないよ」「大きい組さんは読めるかな」「先生に読んでもらったらいんじゃない」「いっぱいしるしつけたらいいんじゃない」など子ども達から考えがたくさん出てきました。

子どもの育ちや学び

友達の遊んで楽しかったことや嬉しかったことに興味をもって聞こうとする。

友達や保育者の思いを聞いて自分なりの考えや思いを言葉で伝えようとする。

クラスでの話し合いを繰り返すことで、自分なりの思いや考えたことを話し、自分たちなりに解決しようとする。

保育者の思い

- ・友達が困っている時に一緒に考えて欲しい。
- ・みんなで、相談しながら考える楽しさや、自分の思いを出し合ってほしい。
- ・友達にも考えや思いがあることを知って欲しい。

家庭だったら・・・

興味を持っていることを家族で話したり、「なぜ?」「どうして?」を一緒に考えてみるのはどうでしょう。きっと「こうしたらいいんじゃない?!」「こうしてみたい」などたくさんのアイデアが出てくるのではないのでしょうか。大人がびっくりするような方法もでてくるかもしれないですね。

時間がある時には、一緒にやってみてはいかがでしょう?